



置農フライド

置農ふれあい通信

【学校スローガン】

「命」を育み、「心」を育み、「人」を育む。

『トピックス』

新型コロナウイルス感染症第5波収束を見送り、2年ぶりに「置農吹奏楽部定期演奏会」を開催しました。「頑張ってきた山賀部長のために」後輩、顧問、OB・OGの想いが溢れた素敵な写真です。



1 「吹奏楽部定期演奏会」開催！

「昨年の先輩方は定期演奏会を実施できずに引退してしまいました。…今年に入ってから思うように活動できませんでしたが、毎日こつこつと練習し何回か演奏する機会を頂きました。…今回の演奏会では、OB・OGの先輩方が加わって下さり、いつもの倍の人数での発表となります。短い時間でしたが、一生懸命練習を頑張ってきました。最後までどうぞお楽しみください。（当日パソレット部長挨拶文）」あつという間に過ぎていく短期間で生徒達を輝かせ、育ち合わせる教育力が置農最大の魅力です。

【目次】

- 1 吹奏楽部定期演奏会
- 2 スキー授業
- 3 進路合格体験報告会
- 4 進路ガイダンス
- 5 生徒総会
- 6 蓬指導委員会
- 7 学校評価アンケート③
- 8 卒業証書授与式
- 9 置農植物園
- 10 YouTube
「置農チャンネル」
- 11 編集者コラム



2 スキーを楽しむ人たち！

「山形出身ならスキーが上手でしょ。」50歳以上の方なら関東や関西方面等に進学したり就職したりした際に、周囲から言われたことがあるのではないのでしょうか。雪国の子ども達には雄大な自然でのウィンタースポーツを満喫し、生涯スポーツに繋げて欲しいものです。

本校では例年1,2年生は3回、3年生は2回、天元台スキー場や蔵王ライザスキー場や宮城県七ヶ宿スキー場に出向いてスキーを満喫。3年生にとって最後のスキー授業は天候にも恵まれ、最高のコンディション。卒業を前に大いに楽しむことができたようです。



3 先輩の努力に学ぶ人たち！

「面接練習をどれだけしていただいたかが勝負を分ける」「履歴書を何度も書き直すのが辛かった」「結局最後は学力勝負、しっかり勉強することが大切」「資格をいくつか取得してよかった」「まず人の目を見て話そう」などなど。進路実現を達成できた先輩たちが1,2年生に熱く語ります。

「昨年卒業した先輩に教えていただいた時からあっという間の1年だった」そう訴える先輩の目は既に4月からの新生活に向けられています。先輩の想いに応えてお互いに励み合いましょう。



4 外部講師に教えを乞う人たち！

上記「先輩講話」に触発されて進路について具体的に考え始めた1,2年生。その生徒たちの想いを一層高める進路ガイダンスを学年毎に開催しました。1年生の目的は「進路を考える力の育成」と「職業適性の把握」。2年生は「今後取り組むべきことの明確化」です。

(株)イソアゲミーの佐藤先生にコーディネートして頂き、それぞれ複数個所に分かれてオンラインで実施。とても貴重なお話しを多数お聞きすることができ、皆真剣に拝聴。とても有意義な時間になりました。



5 生徒会始動！生徒総会開催！

後期生徒総会がオンラインで実施され、新たな生徒会と農業クラブが始動しました。総会では「服装規定」改定を望む意見を多数の生徒が支持し、後日、女子制服ズボン新設とネクタイ着用が認められました。「ルール緩和だけでなく、清楚な身なりを心掛ける意識が必要」など、主体的な自治活動が感じられる意見も多く、今後の展開が楽しみです。また、当日の放課後、「役員認証式」が職員会議冒頭に行われました。歴代校長の写真と大勢の職員に見守られて認証書を授与された役員たちはどこか緊張ぎみ。皆、重責を再認識し決意を新たにしましたようです。



6 蓬指導委員会をご存じですか？

30年以上前に教員となった筆者は、当時、「高校生は高校生として生まれてくる」などと正に自動販売機で取り出されるかのように考えていました。その後結婚して子どもが生まれ、保護者の方々のご苦労や愛情、子どもの成長過程を体感して当時の愚かな考えを断ち切るに至ります。長女が誕生した時、手首に赤あざがありました。とても心配しましたが、医師から成長とともに消えると知らされ、成長に係る個人差を理解することもできました。今、全国の多くの子ども達が多様な困り感を抱きながら悩み、苦しんでいます。本校では蓬指導委員会がそういった子ども達への合理的配慮や全生徒への様々な支援を先導しています。



7 「学校評価アンケート③」集計結果。

1月。学校評価に係るアンケート調査を実施したところ、生徒満足度84p(前回84p)、保護者満足度82p(81p)ともに概ね良好な評価となりました。そのような中でも、「一層主体的な農業クラブ活動」等を望む生徒や「家庭学習の定着に向けた助力」等を望む保護者の要望も推測され、今後集中して取り組むべき課題を確認することもできました。

一方、職員評価は教科指導70p(74p)と生徒指導74p(74p)、ワーク・バランス67p(69p)の評価が低く、現状に満足せず授業改善と生徒指導の充実に一層励もうとする意識の高さが伺われました。



8 「卒業式」を挙りました。

3月3日。卒業式が行われました。2年時の高校総体や、延期を重ねて実施を模索していた修学旅行も結果的に中止になるなど、新型コロナウイルス感染症の影響で様々な活動自粛がもとめられた高校生活。そのような中でも、ホッケー部のインターハイ出場や各種プロジェクト学習の充実など輝かしい実績を残し、生徒会長と農業クラブ会長の下、学校生活充実につながる生徒会活動、農業クラブ



を精一杯展開してくれました。

卒業式会場入り口には多くの花が飾られており、桜の花まで見られるなど、頑張った卒業生を励まそうとする後輩や先生方の想いが溢れた式典となりました。

卒業後、困難や苦しみを何度も体験することでしょう。そんな時こそ、在学中に学んだ清楚な身なりと爽やかな挨拶、主体的な生き方を武器に周囲の方々に助けを求め、教を乞いながら乗り越えてくれることを確信しています。卒業生の未来に幸あれ。

9 「置農植物園」の冬。

敷地全体が「植物園」。雪を踏み分けて散策してみましたが、知識の浅い筆者には昆虫や草花を見つけることができませんでした。トラクターは除雪バージョンに変形し、ブルドーザーや小型除雪機がフル稼働。学校技能員や農場部職員全員が日々除雪作業に追われています。

除雪はもう十分。でも、これが季節感かもしれません。春の到来を心待ちにしつつ、その日に備えて準備する。それもまた農業の楽しみなのかもしれません。



10 「置農チャンネル」大好評!!

学校HP (<http://www.okitama-ah.ed.jp>)に加えてYouTube (「置賜農業高等学校」で検索または右QRコード)でも情報発信しています。農業の楽しさと本校の魅力を、ご体感ください。



【編集者コラム】・・・ コロナ禍の先にあるもの・・・

新型コロナウイルス感染症第6波が猛威をふるう中、コロナ禍で学校生活を送っている児童生徒、学生的心情を想うと胸が痛み、彼らの人生にどのような影響もたらされるのか心配がつのるばかりです。

甚大な被害をもたらした東日本大震災では「絆」の大切さが社会的に再認識され、コロナ禍は学校教育の目的を改めて確認し、教育内容を再構築する機会となっています。「質実剛健」「誠実明朗」「実践奉仕」。生徒たちが生き生きと成長し合える学校づくりを一層推進してまいります。(文責、教頭)

今後の予定

【 3月 】

23水 修了式・離任式
25金 合格者説明会

【 4月(調整中) 】

1金 総合実習
4月 総合実習
9土 始業式・入学式
12火 新入生歓迎会
14木 新入生刈り上げ
15金 歯科検診
19火 入部式
PTA・体文役員会
29金 PTA・体文総会